

# 平成26年度社会福祉法人長洲町社会福祉協議会事業報告

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

近年、地域社会を取り巻く状況が厳しい経済情勢、自然災害の発生などを背景に、新たな福祉課題が顕在化する中で、ふれあい地区社協活動を核とした、「地域の福祉力」を高める住民主体の地域福祉活動の支援と福祉サービスの制度の狭間にある課題への対応を行いました。介護保険事業では社協の特性を活かし、利用者の立場に立ったサービスの提供に努め、地域包括支援センターにおいては地域に根ざした総合的な支援体制の充実に努めました。また、第二次活動計画の最終年度であり、これまでの活動を精査し地域住民の参画のもと「第三次地域福祉活動計画」に着手しました。また、セーフティーネットと福祉サービスの取り組みとして、様々な支援活動を行い住民生活の質の向上と地域福祉の推進を図りました。

以下、平成26年度の事業について報告します。

## I 法人運営

### 1 理事会、評議員会の開催

#### 1) 理事会

回数	開催日時	提出議案
第1回	平成26年5月19日(月)10:00～	・平成25年度事業報告及び決算について ・評議員の選任について
第2回	平成26年9月29日(月)10:00～	・要綱制定の専決処分について ・上半期事業実施報告について ・一般会計・特別会計補正予算について
第3回	平成27年3月26日(木)10:00～	・定款・規程の一部改正について ・平成27年度事業計画について ・一般会計・特別会計予算について

#### 2) 評議員会

回数	開催日時	提出議案
第1回	平成26年5月19日(月)13:30～	・平成25年度事業報告及び決算について ・理事の選任について
第2回	平成26年9月29日(月)13:30～	・一般会計・特別会計補正予算について ・理事の選任について
第3回	平成27年3月26日(木)13:30～	・平成27年度事業計画について ・一般会計・特別会計予算について

### 2 監査

回数	日時	内容
第1回	平成26年5月1日(木)13:30～	・平成25年度決算監査

## II 地域支援の重点事業の成果及び実績

### 1 地域住民の参加と協力による地域福祉活動の推進

本会が行う地域福祉活動の母体となる「ふれあい地区社協」に対し、支援を行うとともに長洲町からの受託事業に取組み、ふれあい地区社協の活動の充実と拡充及び、住民主体の地域福祉活動推進に努めました。

#### 1) ふれあい地区社会福祉協議会

①役員会・代表者会議

区 分	日 時	場 所
第1回役員会	平成26年5月16日(金) 午前10時～12時	ふれあいセンター
第1回代表者会	平成26年5月30日(金) 午後1時30分～15時30分	
第2回役員会	平成26年10月17日(金) 午前10時～12時	
第2回代表者会	平成26年10月31日(金) 午前10時～12時	
第3回役員会	平成27年1月29日(木) 午前10時～12時	
第4回役員会	平成27年3月16日(月) 午前10時～12時	

②ふれあい地区社協校区合同研修会

日 時	内 容	場 所
平成27年2月7日(土)	「認知症の人にやさしいまちづくり in ながす」 主催：長洲町役場 福祉保健介護課 ・介護予防拠点を活用した取組み ・地域と事業者が連携した介護予防活動 ・介護サービス事業所が地域のためにできること	ながす未来館

③社協会長杯グラウンドゴルフ大会

日 時	内 容	人数	場 所
平成26年12月18日(木)	ふれあい地区社協27チーム	170名	長洲町総合スポーツセンター グラウンド

2) 福祉まつり開催

「なぜ、この社協まつりを実施するのか」を改めて社協職員だけでなく外部の意見も含め見つめ直すために関係者による実行委員会を組織し、「社協まつり」から「福祉まつり」に変更し実施しました。

実行委員会 4回開催 人数14人

開 催 日	内 容	参加者	場 所
平成26年11月16日(日)	ステージ・体験・展示・募金活動	500名	ながす未来館及び周辺

3) 共同募金配分事業

「共同募金配分事業」として、老人福祉活動、障がい児・者福祉活動、児童・青少年福祉活動、母子父子福祉活動及び福祉育成・援助活動を実施しました。

①老人福祉活動

ア) 長洲町老人クラブ連合会 活動支援

開 催 日	内 容	場 所
平成26年5月22日(木)	大会施設使用料援助	ながす未来館

②障がい児・者福祉活動

ア) 長洲町身体障害者福祉協議会 活動支援

開 催 日	内 容	場 所
平成26年9月30日(火)	県身体障がい者福祉団体連合会創立50周年記念式典協力援助	崇城大学ホール
平成26年10月31日(水)	玉名郡身体障害者球技大会協力援助	南関町農村広場
平成26年12月10日(水)	熊本県障がい者歌謡祭協力援助	火の君文化センター

イ) 障がい児・者施設夏祭り協力支援

開催日	内 容	場 所
平成 26 年 7 月 26 日 (土)	ひまわりの里夏祭り出店協力及び職員派遣等支援	腹赤小学校グラウンド
平成 26 年 10 月 25 日 (土)	クリーン作戦協力	国道 501 号線沿い

③児童・青少年福祉活動

ア) 新小学一年生への援助

入学児童 121 名分の入学祝として (クーピー) を贈呈しました。

イ) ワークキャンプ事業

小学生が夏休みを利用し、社会福祉施設で高齢者と交流しながら、ボランティア活動の体験を通じ、ボランティア精神を養うため実施しました。

開催日 平成 26 年 8 月 7、8 日 (2 日間) 町内小学 5、6 年生 5 人参加

④母子・父子福祉活動

新中学一年生を持つひとり親家庭を対象に、中学校入学支度金を 18 名に対して助成を行いました。

⑤福祉活動育成・援助活動

町内中学生の職場体験学習の受入れを行いました。

また、各ボランティア協力校の依頼に基づき総合的な学習の時間に福祉を身近に感じる体験学習を行うため、講師の紹介や、社協職員の指導による車いす操作体験などを行い、福祉教育の推進を図りました。

ア) 職場体験

学校名	受入期間	内 容	生徒数
腹栄中	平成 26 年 8 月 20 日 (水)～8 月 21 日 (木)	事務局・通所介護事業所及び子育て支援センター・児童館体験	4 名

イ) 実習生受入れ

学校名	受入期間	内 容	受入数
九州看護福祉大学	平成 26 年 8 月 4 日 (水)～9 月 16 日 (金) 平成 26 年 2 月 2 日 (水)～3 月 6 日 (金)	相談援助実習	4 名

ウ) 総合学習

学校名	実 施 日	内 容	講 師	参加者数
長洲中	平成 26 年 9 月 25 日 (木)	点字体験	手話サークルともしび	16 名
清里小	平成 26 年 9 月 1 日 (月) 平成 26 年 9 月 3 日 (水)	福祉について 車いす体験	社協職員	
六栄小	平成 26 年 9 月 25 日 (木)	車いす体験	社協職員	36 名

2 福祉サービス相談窓口としての機能の充実

1) 心配事相談所

毎月第一火曜日に財産、家族問題等の相談について弁護士による相談所を開設しました。

住宅	家族	健康・衛生	人権・法律	財産	その他	合計
5	3	0	0	6	1	15

2) 生活福祉資金貸付・小口貸付

低所得・障がい者・高齢者世帯等に、県社協の資金貸付事業の「生活福祉資金貸付事業や本会の小口資金貸付事業「福祉金庫」で経済的に支えるとともに、生活の

安定や自立を図りました。

①生活福祉資金貸付事業

種 別	相談件数	申請件数	決定件数	不承認件数	取下げ件数	対象外・他制度等
福祉資金貸付	2	1	1	0	0	0
教育支援資金貸付	1	0	0	0	0	1
総合支援資金貸付	11	0	0	0	0	6
計	14	1	1	0	0	7

②福祉金庫貸付事業

種別	相談件数	申請件数	決定件数	不承認件数	取下げ件数	対象外・他制度等
福祉金庫貸付	24	23	23	0	0	1

3 地域福祉権利擁護事業

判断能力が不十分で日常生活を営むのに支障がある方に対して、安心して暮らせる環境整備、生活支援等により生活上の安定及び負担の軽減を図りました。

実利用数	新規契約	契約解除	支援員数	利用回数
6名	2名	2名	4人	178回

※ 実利用数内訳 認知症3名 知的障害者2名 その他1名

4 預かりサービス

地域福祉権利擁護事業の補完的サービス、または対象外の方も利用できるサービスとして預かりサービスを平成26年4月1日より実施しました。

実利用者数 5名 利用回数 76回

(実利用数内訳 認知症2名 精神障害者1名 その他2名)

5 ボランティアセンター事業の推進

1) 町内小・中学生による「児童館まつり」や「街頭募金運動」、「福祉まつり」などのボランティア活動体験の場を設けました。

2) ボランティア協力校指定推進事業

長洲町における小・中学校へのボランティア活動の普及を図り、本会と各学校の連携を密にするため、町内小学校4校、中学校2校の計6校をボランティア協力校に指定し、活動支援金の交付を行いました。

6 災害炊飯体験活動（赤十字講習会）

1) 町内小学校及び関係機関と連携を図り、東日本大震災における復興支援活動の現状を聞くとともに、非常用炊飯袋を使った体験活動を行うことで、非常災害時における心構えなどを学ぶための活動を支援しました。

学校名	実施日	内 容	講 師
清里小	平成26年10月15日(水)	非常災害時における体験活動	和水町企画課 柳原志保氏 社協職員及び赤十字奉仕団

2) 日赤奉仕団の講習会開催

赤十字奉仕団としての自覚を促し、意識の高揚を図るとともに、活動するために必要な知識と技術を身に付けることを目的に開催しました。

実施日	内容	講師	場所
平成26年4月26日(土)	いざ役立つ知識と技術	日赤 救急法指導員 村上 裕子 氏	中央公民館

平成 26 年 9 月 27 日 (土)	心肺蘇生法及び身近な物を使っての応急処置について	日赤 救急法指導員 田上 実 氏	中央公民館
----------------------	--------------------------	---------------------	-------

## 7 受託事業

### 1) 安心生活基盤構築事業

地域住民の参加による地域づくりを通じて社会的孤立を防ぎ、誰もが安心して生活できる基盤を構築するため、抜け漏れのない把握や総合相談支援、居場所づくり、権利擁護の推進等、住民生活に関わる福祉関連事業をあわせて総合的に取り組みました。

実施期間	内 容
平成 26 年 4 月 1 日 ～平成 27 年 3 月 31 日	安心生活「困りごと」相談所 相談 18 件
	腹赤・清里校区民生委員による個別アンケート調査 165 名
	熊本県合志市社協・宮崎県三郷町社協視察研修 参加者 11 名
	地域福祉フォーラム参加者 8 名
	介護・医療・福祉案内マップ作成

### 2) 生活困窮者総合相談支援モデル事業

生活困窮者自立支援法が平成 25 年 12 月 13 日に公布され、平成 27 年 4 月 1 日施行に備え、生活保護に至る前から生活困窮者の相談に対応し生活困窮者が抱える課題を把握するとともに、困窮状態から早期に脱却することを支援するための体制構築を目的としたモデル事業に玉名郡 3 町社協と連携して取り組みました。

相談件数 13 件 (内 解決件数 7 件 転居 1 件、就職 6 件)

### 3) 生活・介護支援サポーター養成事業

地域の高齢者の個別の生活ニーズに応える仕組みを安定的・継続的に構築するため、町民の主体性に基づき運営される新たな住民参加サービス等の担い手として生活・介護支援サポーターを養成し、地域で高齢者の生活を支える活動を創出することを目的とした事業に取り組みました。

	実施期間	内容
生活介護支援サポーター養成	平成 27 年 1 月 16 日 (金) ～平成 27 年 3 月 19 日 (木)	全 10 講座 (内:1 日施設実習) 参加者 26 名 (延 133 名)
生活介護支援サポーターフォローアップ研修	平成 27 年 1 月 22 日 (木) ～平成 27 年 3 月 12 日 (木)	全 3 回 参加者 103 名 (延 147 名)

## 8 子育て支援・児童健全育成事業の推進

### 1) 子育て支援センター事業

子育て支援の拠点として、子育てに関する関係機関との調整を図り、相談や指導を行い、孤立しがちな子育て期親子が安心して過ごせる場所の提供や同世代の子を持つ親同士の情報交換や相談、交流をできるように「にこにこサロン」や「1歳の誕生会」などを開催しました。

また、子育て支援センターの行事や内容を周知する為、情報誌「にこにこ通信」の発行を行い、子育てサークルを支援し、より多くの町内の方に「子育て支援センター」を知っていただけるように、行事内容を充実させ実施してきました。

開 館 日	利用者総人数	一日平均利用者
304 日	幼児 4,058 人、 大人 2,987 人	23 人

①にこにこサロン (毎月第 1 木曜日) 延実績 大人 151 人 子供 202 人  
4 月: 交流会 5 月: こいのぼり制作

6月：歯について学ぼう

7月：七夕

8月：水遊び

9月：幼児安全法（日赤熊本県支部）

10月：ミニ運動会

11月：子育て講演会（坂口京子氏）

12月：クリスマス会

1月：茶話会

2月：豆まき

3月：おはなし会・送る会

②はいはい・よちよち大会（年2回）

開催日	はいはいの部	よちよちの部	かけっこの部	場所
平成26年4月30日(水)	8人	7人	8人	子育て支援センター
平成26年10月29日(水)	12人	9人	19人	

③パステルアート教室（年2回）

開催日	参加者	講師	場所
平成26年6月20日(金)	大人11人、子ども13人	中逸芳佳先生	子育て支援センター
平成27年2月13日(金)	大人11人、子ども9人		

※2月の実施分の大人の数には、実習生の数も含まれます。

④ベビーマッサージ（年4回）

開催日	参加者	講師	場所
平成26年4月14日(月)	大人9人、子ども10人	萩尾沙織先生	子育て支援センター
平成26年7月7日(月)	大人11人、子ども11人		
平成26年10月6日(月)	大人11人、子ども11人		
平成27年1月19日(月)	大人6人、子ども7人		

⑤クッキング教室（年2回）

開催日	参加者	場所
平成26年5月30日(金)	大人7人 子ども10人	すこやか館
平成26年11月20日(木)	大人11人、子ども11人	

⑥人形劇鑑賞会（年2回）

開催日	参加者	公演者	場所
平成26年8月11日(月)	大人27人 子ども48人	人形劇団チャパ	子育て支援センター
平成27年3月26日(木)	大人34人 子ども51人	人形芝居 ファンタジア	

⑦親子コミュニケーション体操（年3回）

開催日	参加者	講師	場所
平成26年5月12日(月)	大人10人 子ども13人	中山里佳先生	子育て支援センター
平成26年9月8日(月)	大人14人 子ども16人	松本 都先生	
平成27年1月30日(金)	大人11人 子ども12人		

⑧リトミック（年3回）

開催日	参加者	講師	場所
平成26年7月18日(金)	大人6人 子ども6人	中倉紗知先生	子育て支援センター
平成26年11月14日(金)	大人12人 子ども16人		
平成27年3月20日(金)	大人10人 子ども14人		

⑨1歳の誕生会（年12回） 延実績 大人73人 子ども87人

場所：子育て支援センター

参加者 : 町内の1歳を迎える幼児とその保護者

⑩ごきげんタイム(毎週火曜日) 延実績 大人 488人 子ども 651人

場 所 : 子育て支援センター

内 容 : 手遊び・リズム遊び・折り紙・シール遊び・お話会など

⑪地域支援活動・幼児健診支援・サークル支援活動 等

町で行われる「7ヶ月健診」などの支援や町の子育てサークル「でてこんね～」の支援等を行いました。

## 2) ファミリーサポート事業

幼児・児童を子育て中の保護者が「安心して楽しく子育てできるように」援助を受ける方と、援助を行う方との会員登録制度による相互援助活動により、家庭的保育の支援を行う体制をとりました。

## 3) 児童館事業

児童に健全な遊びの場を与え、健康を増進し、情操を豊かにしいつでも気軽に利用できる環境づくりに努め、児童館の周知や各機関との連携を図りながら少年期の子育て支援を行いました。

### ①児童館まつり

開催日 : 5月10日(土)

場 所 : ふれあいセンター

参加者 : 大人 62人 子ども 135人 幼児 62人

中学生ボランティア 18人 町各団体ボランティア 12人 計 289人

### ②児童館クラブ(年12回) 会員数25人 延実績240人

4月:交流会 5月:児童館まつり 6月:料理教室計画編

7月:料理教室実行編 8月:護身術 9月:食育(メグミルク)

10月:環境教室(UVビーズ) 11月:ボランティア活動 12月:クリスマス会

1月:ストーンペインティング 2月:館外活動 3月:思い出制作

### ③ビデオシアター(毎月1回 第1土曜日) 延実績 大人 53人

子ども 303人 幼児 58人

場 所 : 中央児童館

内 容 : ビデオ鑑賞会

### ④学べる道場(年2回)

開催日	参加者	内 容	講 師
平成26年6月28日(土)	20人	スイーツデコ(2部制)	金木貴子先生
平成26年9月13日(土)	20人	パステルアート教室	中逸芳佳先生

### ⑤カルチャー教室(書道・郷土料理)

開催日	内 容	参加者	講 師	場 所
平成26年7月24日(金)	書 道	17人	竹本みどり先生	中央児童館
平成27年3月14日(土)	郷土料理	5人	田上蘭子先生	すこやか館 調理室

### ⑥ジュニアリーダー研修会(年1回)

開催日	参加者	内 容	場 所
平成26年7月30日(水) ～ 31日(木)	25人	宿泊研修	豊野少年自然の家

⑦新春書初め大会

開催日	参加者	講師	場所
平成27年1月5日(月)	18人	竹本みどり先生	中央児童館

⑧人形劇鑑賞会(世代間交流事業)

開催日	参加者	講師	場所
平成27年3月26日(木)	11人	人形劇団ファンタジア	子育て支援センター

※長洲町子育て支援センターと合同事業

介護保険事業所 事業報告

Ⅲ 介護保険事業

1 居宅介護支援事業

- 1) 平成27年4月の介護保険制度改正に向けて、早い段階から情報収集を行うための研修会への参加等、積極的に行い知識や制度の習得に努めることができました。
- 2) ケアマネジャーを二人体制に移行したことで、居宅介護支援事業所の安定した事業運営と体制強化を図ることができました。
- 3) 介護保険利用者の在宅生活が継続できるように、他職種及び関係機関と協働を図り、自立支援に向けたケアプランを作成することに努めることができました。
- 4) 利用者の個人情報保護に努め、苦情や相談業務には迅速な対応に努めることができました。
- 5) 専門的な研修参加及び事業所内研修等で、ケアマネジャーの資質向上と職員のメンタルヘルスケアに努めることができました。
- 6) 各サービス事業者や医療従事者に対して、適切な情報提供を行い、連絡を密に取ることで、円滑なケアマネ業務が行えるように、調整を図ることができました。
- 7) 居宅介護支援事業運営基準などの関係法令、通知を遵守し安定した事業運営に取り組みました。
- 8) 解決困難事例には県の高齢者支援課の担当部署に介護給付算定の可否の疑問点についての質問票を送り、確認を取ることで早期解決に努めることができ、利用者個々の居宅介護支援体制の中で位置付けることができました。

ケアプラン作成目標値：居宅介護支援年間	900件
：介護予防支援年間	120件
達成率：90.2%	
：居宅介護支援年間	789件
：介護予防支援年間	132件

事業名	年度	開所日数	年間延人数	実人数
居宅介護支援事業	H26	245日	921人	107人
	H25	245日	1,001人	115人
	差	±0日	-80名	-8人

2 訪問介護事業

- 1) 利用者が住みなれた地域で穏やかで安心した在宅生活を送れるように、日常生活の自立を促したサービスの提供ができました。
- 2) 利用者の課題解決のために、介護支援専門員との連携や関係機関との情報交換を行う



ことができました。

- 3) 定例のヘルパー会議や日々の申し送り帳の活用で、利用者個々についての情報の共有化とサービス内容の均一化に努めることができました。
- 4) 緊急時のサービス提供にも迅速に対応することができました。
- 5) 平成27年4月からの介護保険改正に伴う説明会や研修会に積極的に参加し、利用者への情報提供や円滑な事務手続きができました。
- 6) 手順書・マニュアルの見直しを図ったことで、サービス提供を行う上での不足や変更の必要性が見えてきました。
- 7) 事業所内外の研修会やヘルパー会議における勉強会で、利用者のニーズに沿った質の高いサービス提供と事業の効率化に取り組みました。

目標値：訪問介護	6,985時間	介護予防訪問介護	2,272時間
達成率：87%	年間 8,086時間		
達成時間：訪問介護	6,142時間	介護予防訪問介護	1,944時間

事業名	年度	開所日数	年間延時間	実人数
訪問介護事業	H26	364日	8,086H	73人
	H25	365日	9,545H	81人
	差	-1日	-1,459H	-8人

### 3 通所介護事業

- 1) 独自の特色あるアピール戦略として、他の居宅介護支援事業所にパンフレットを配布し、ひまわりテレビ等を活用した事業所の紹介を実施しました。
- 2) よりきめ細やかなサービスに向け、利用者のニーズに合わせた個別サービスを提供していくため、地域支援事業との連携を図り、機能訓練内容の見直しと、運動器具類の充実に努めました。
- 3) 機能訓練の一環として、施設外活動としての行事や趣味活動を実施し、利用者一人一人に季節の移ろいを感じてもらえるような行事を展開し、楽しいひと時を過ごしていただきました。
- 4) 地域交流の場として、地域ボランティアや保育園児などと季節行事や畑づくり・収穫など積極的な交流を通し、生きがいづくりとしての地域交流に向け、地域に開かれたデイサービスを紹介することに努めました。
- 5) 通所の定例会議において利用者状況の報告を行い、利用者ニーズ検討などを実施し介護サービスにおける基本的な技法を重視した、より良いサービス提供に努めました。

目標値：年間	4,505人	(一日利用者数	17.6名)
達成率：93.4%	年間	4,211人	(一日利用者数 16.2名)

事業名	年度	開所日数	年間延人数	実人数
通所介護事業	H26	254日	4,211人	59人
	H25	256日	4,377人	63人
	差	-2日	-166人	-4人

### 4 障害者自立支援事業

- 1) 利用者の人格と個性を尊重し、社会参加の機会を確保し身近な地域支援と協働した居宅介護サービスの提供ができました。

- 2) 利用者の意思を尊重した、利用者本位のサービス提供ができました。
- 3) 事業所内外で実施された研修会に積極的に参加し、職員のスキルアップに努めることができました。
- 4) 関係機関との連携を密に行い、利用者の在宅生活を滞りなく支援することができました。
- 5) 制度改正に伴う説明会及び研修会に積極的に参加し、円滑なサービスの提供ができました。

派遣目標：年間 696時間 達成率：120% 年間 835時間

事業名	年度	開所日数	年間延時間	実人数
障がい者自立支援事業	H26	296日	835H	6人
	H25	254日	755H	5人
	差	42日	80H	1人

#### 5 地域支援事業（町受託）

##### 1) ヘルパー派遣事業

日常生活を営むのに支障がある居宅の高齢者を対象に、日常生活の不安の解消を図り、自立した生活の継続を可能にするための軽度生活事業としての家事や介護等の援助及び相談ができました。

事業名	年度	開所日数	年間延時間	実人数
ヘルパー派遣事業	H26	296日	804H	25人
	H25	311日	932H	23人
	差	-15日	-128H	2人

##### 2) デイサロン事業

日常動作訓練から趣味活動（生きがい活動）、施設外活動や季節行事等の各種サービスの提供を行いました。

また、自立支援を目指した事業展開を図るための1つとして、体力・認知力測定を年2回実施し健康運動指導士からの運動プログラムに添って支援を図りました。

事業名	年度	開所日数	年間延人数	実人数
デイサロン事業	H26	204日	1,896人	63人
	H25	199日	1,480人	52人
	差	5日	416人	11人

### 長洲町地域包括支援センター実績報告

#### IV 地域包括支援センター

##### 1 4つの主な業務について

##### 1) 介護予防ケアマネジメント業務

##### ①介護予防ケアマネジメント業務（二次予防事業）

日常生活圏域ニーズ調査や、訪問調査などで生活機能低下のおそれのある方に対し、運動機能向上・口腔機能向上・栄養改善のプログラムへの参加を勧め、要支援・要介護状態に陥ることを予防しました。

介護予防プログラム	期間	参加実人数
健康づくり教室1クール	5月27日～10月14日	21名
健康づくり教室2クール	10月28日～3月17日	24名

## ②二次予防事業対象者把握事業

長洲町の65歳以上の方を対象に、身体機能や日常生活、社会参加状況及び、生活機能の低下が見られる方について集計を行い、連絡・訪問により二次予防事業への参加促しや潜在的にリスクの高い高齢者の把握、及び必要な支援への連携を図っています。11月発送の方に対しては未返信の方へも訪問を行い実態把握に努めました。

調査期間	対象地区	対象人数	回収人数	回収率	二次予防事業対象者数	二次予防事業対象率
H26.5月 ~7月	平原区	167人	126人	75.4%	30人	17.9%
	清源寺	292人	229人	78.4%	59人	20.2%
H26.11月 ~2月	上沖洲	193人	120人	62.2%	45人	23.3%
	腹赤	184人	109人	59.2%	36人	19.6%
	腹赤新町	66人	53人	80.3%	11人	16.7%

## ③地域支援事業

65歳以上の要介護認定等を受けていない人に対し、以下の介護予防事業の支援を行いました。

### ア) 介護予防普及啓発申請 (デイサロン)

閉じこもりがちや虚弱状態の人に対しデイサロン利用申請により、介護予防を図りました。

今年度新規申請者：25名

現在の利用者数：38名

### イ) 任意事業 (ヘルパー派遣・短期入所)

一時的にヘルパーの派遣や短期宿泊の利用申請により自立した生活への支援を行ないました。

今年度ヘルパー派遣新規申請者：15名

現在のヘルパー派遣利用者：24名

短期宿泊利用申請者：0名

## 2) 総合相談支援事業

(相談対応の回数)

	介護や介護保険等福祉に関する相談		健康や病気など保健、医療に関する相談		その他の相談		合計	
	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26
電話	440	448	49	68	678	414	1,167	930
来所	117	90	6	9	7	12	130	111
訪問	228	332	15	14	53	22	296	368
その他	34	49	5	1	5	14	44	64
合計	819	919	75	92	743	462	1,637	1,473

- ・相談内容によって、各制度やサービス利用へつなぎ解決を支援しました。また携帯電話での見守り安否確認も併せて行いました。
- ・解決困難な相談に対しては、地域ケア会議において関係機関と協議するなどで解決を支援しました。

### 3) 権利擁護業務

(相談対応の回数)

	高齢者虐待に関する相談		権利擁護・成年後見に関する相談		消費者被害に関する相談		合 計	
	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26
電 話	5	1	5	7	1	2	11	10
来 所	3	0	2	6	1	0	6	6
訪 問	6	2	2	16	1	1	9	19
その他	1	1	0	6	0	1	1	8
合 計	15	4	9	35	3	4	27	43

- ・高齢者虐待や成年後見制度については町福祉係や社協地域支援係と連携し解決の支援を行ないました。

### 4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

(相談対応の回数)

	介護支援専門員の日常業務に関する個別指導・相談		支援困難事例等の相談・指導		合 計	
	H25	H26	H25	H26	H25	H26
電 話	6	8	18	13	24	21
来 所	96	69	11	11	107	80
訪 問	11	34	3	7	14	41
その他	4	19	0	0	4	19
合 計	117	130	32	31	149	161

- ・医療機関との連携に係る介護支援専門員訪問：医療機関との連携に関する現状把握、主治医意見書記載の為のアンケート活用について、地域ケア会議に関する意見、包括・町への要望等の聞き取りを行いました。
- ・ケアマネ連絡会を適宜開催し、町介護保険係より介護保険認定調査及び次期介護保険制度改正についての説明や医療介護の連携に関する説明など情報提供を行いました。

## 2 介護予防支援事業

介護保険の要支援1・2認定者に対するケアプランを作成し、一部は地域の居宅介護支援事業所にケアプランの作成委託を行いました。

(ケアプラン作成件数)

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月
直 営	H25年度	84	90	94	93	91	104
	H26年度	103	104	106	107	110	113
	増減	19	14	12	14	19	9
委 託	H25年度	49	50	52	44	45	44
	H26年度	51	54	55	53	51	53
	増減	2	4	3	9	6	9

区 分		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
直 営	H25年度	108	102	103	105	96	93	1,163
	H26年度	114	113	111	108	110	115	1,314
	増減	6	11	8	3	14	22	151
委 託	H25年度	45	51	49	51	51	51	582
	H26年度	51	51	55	53	53	53	633
	増減	6	0	6	2	2	2	51

委託の居宅介護支援事業所：16事業所（町内5事業所、荒尾市2事業所、玉名市6事業所、合志市1事業所、熊本市1事業所、福岡市1事業所）

### 3 その他の事業

#### 1) 認知症施策事業

##### ①認知症サポーター養成講座開催

認知症になっても安心して暮らせるまちを目指すため、認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者になってもらう認知症サポーターを養成しました。

日 付	対象者	人 数
6月30日	下東区（はっとり荘）	36人
9月4日	長洲中学校1年生	70人
9月11日	長洲小学校6年生	53人
10月25日	大明神区（きずなの家）	45人
12月22日	清里小学校6年生	19人
2月13日	肥後銀行長洲支店	17人
合 計		240人

##### ②認知症サポーター活動活性化事業

長洲町において養成した認知症サポーターの活動支援を行うことができるよう、認知症サポーターステップアップ研修会を行い、活動意欲のある認知症サポーターの名簿の作成を行いました。また、徘徊者捜索模擬訓練については町の防災無線を使用し、行方不明者発生時における情報伝達訓練を行いました。

日 付	内 容	人 数
12月3日	認知症サポーターステップアップ研修会 in 有明（県主催事業）	144人
12月13日	認知症サポーター座談会	20人
1月24日	認知症の人に対する声かけ・徘徊者捜索模擬訓練	58人

##### ③「高齢者や認知症の人にやさしいお店」に対するアンケート

平成24年度に登録を行った「高齢者や認知症の人にやさしいお店」114店舗に対し、認知症の人の来店や接客の中での困り事についてのアンケート調査を実施し、93店舗から返事をいただきました。また、認知症サポーターステップアップ研修会の案内を行いました。

#### 2) 地域ケア会議の開催

個別課題を中心に、関係者や専門職、行政と共に課題解決に向けた会議を開催し、情

報共有やネットワーク化を目指しました。また個別課題から地域の課題を見出すことを目指し、年間6回の会議を開催しました。

また、補助事業としての地域ケア会議立ち上げ支援事業において、介護サービス事業所を対象にした研修会の開催、地域ケア会議マニュアル(案)の作成、医療機関と介護支援専門員との合同勉強会などを行いました。

### 3) 長洲町介護サービス事業者連絡協議会事務局

介護サービス提供事業者の連携と保険者である長洲町と情報交換等を行うことにより、介護保険制度の適正かつ円滑な運営に資するとともに介護サービスの質の向上を図り、会員相互の連携や情報の共有化を図ることを目的とした、研修会や事例検討会を開催するための支援を行ないました。

#### ①研修会等

日付	内 容	参加者
5月30日	総会（平成25年度事業報告、平成26年度事業計画）	28人
8月5日	民生委員・児童委員協議会8月定例会における協議会の紹介及び意見交換会	7人
9月11日～ 10月31日	介護サービス体験利用（通所系・小規模多機能居宅介護10事業所） 対象者：ふれあい地区社協・民児協	11人

#### ②役員会

月1回程度開催し、事業の打ち合わせや情報共有を図りました。

#### ③委員会活動

広報委員会、連絡帳作成委員会、マニュアル作成委員会、研修委員会の4つの委員会を設置し理念に基づいた各活動の支援を行いました。